

安政見聞誌 中

和書門			
三	一	三六七三三	類
冊	架	函號	

內閣文庫			
六	三	三六七三三	和
函	冊	號	書
冊	架	號	類

內閣文庫	
番號	和 36733
冊數	3 (2)
函號	166 534

地 一 三 四



安政具厚誌中巻

北東之方より西方にゆく

東条中の丁迄より休之丁迄戸丁二丁目方三三新揚又所曰此方西河岩
南丁目方三三目月長家七赤京町二丁里俗云新丁赤京中巻々惣矣
赤京と云ち赤大坂横之跡と云惟一系其迹母赤京のよと云

△甲斐村山原より赤京中村の板元中へ渡戸町所の家は赤年杖候一人今松城守候
一丁目の赤京御政宅にて赤と春と史評の色と歩行する小川橋やり候一人
なるへ迄より休之丁と云赤京と云と押ゆきより若原居て置り表の赤京
又之へは休之丁と云赤と春と板由一赤京居を運出候一赤京と渡戸板と云る
母の白條一赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云
赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云赤京と云
田川を舟運くも舟を舟と云る今此地の地蔵の大ききを舟と云母と云



大	親	往	大	貸	現	借	本	新	仮
火	地	起	火	費	金	夥	贅	宅	行
動	恐	裂	動	新	少	空	賑	建	焼
前	火	夢	前	晝	深	職	死	職	疵
土	中	埋	土	夜	驚	人	藝	人	開
逃	苦	走	逃	動	光	喜	治	喜	蘓
地	家	施	地	仁	水	醫	長	醫	貧
乱	行	止	乱	道	懲	者	役	者	間
多	榮	固	多	導	割	開	儲	開	泣
家	金	庫	家	切	番	町	年	町	日
氣	賀	勞	氣	大	欲	者	世	者	直
崩	入	倒	崩	賣	榮	豐	麗	豐	明



海く狭く之を
 公家の地を
 何れいふは
 陽より清き水
 の色は他小橋
 方初橋ふたの
 是又後世の
 他家の人の
 見せしめ
 おきり

附 録

茲又地震後いまま市中のやうなるものばり方々ある一校指録
 繪小中板瓦を敷二百式拾余小かより松店を過りて商のあり
 皆何れも人々をてこれと束むるにけ公より水割禁のせむる
 のころあ絶板せむむるああれど大江産の整花廣大されば絶板の
 後もまていられるものさあへわりその一をを固よりくすする
 のころあ後のせむはてくあ中のあくさあれは

○茶の引れ



茶の引れ

一 押以妙なり知... 後元年任あを福の西大の... 他をせり... 別て... 以上... 中と... 経... 上...

- 一 目の... 職人... 材木屋... 車力... 目雇
- 一 高利座... 地面持... 一... 取... 一... 種... 草...
- 一 土蔵の... 用... 二... 又...

○本家乳押し明所
 町百年目
 要屋石藏



△平近市浪丁浅野重次といふ人あり人吉東大馬屋の在瀬川と流くたつひ程
おたふ方のうらさせ川の切みありておとせしきり要子の侍ありて大重次は日比
は正善園寺の昆沙天を信ぜり思ふ系信し其弟あり一人孫信が音信とい何
事と尋らむ一人の所を尋らむは信示て曰正下今革命の相あり流て信
小啼て最不祥と云ふ流く狭河中一毛を流んと云ふ信が白豆中の神佛と云々
あ侍ゆ毛と云々せん若止すと云ふ化りまるとも無御更中及びせ序毛と下
赤い油のい流中一と云ふ一札を画て流定一在たまる種く利り出きて浅草
へり多ふ其序を尋らむと在瀬川へり酒毒一續談するとも史判の中へり
不斗被傍のさしと云ふひ中一帳と尋らむとせ川の切み止るれ共終り交と云出る
と尋らむ右地着みて大不狭一が音信の方と云ふ信のるふ所ふ火災犯信
相考の冷しと云ふ音信返り大馬屋へ近着たせ川へ入ると報出り多ひ夜
油と云ふ変異此業ふたへり不名後今と流るる音信公の性あり

△紀事うま作統を拙りて一交撥奉成の一夕作小羽近白山下あ信を
丁雅者卯年十月二日の亥時ふ二指の板戸と後せんとして上つて多
撫子をゆかるとおはぶやう今宵定て地着の焚火とあるも養勤は下
らんと云物成るとある預めの旨と不祥のふと云ぬる灯せよ狭中よと
灯あして其後ふ有るも果て生夜の天災ふ家会と被換一を家内事
あて身と腹と一月恙あり一亥七日のおおまや一その願するは家とあり
信のいまの家の家着ふ入て各母おせしと被丁雅のまると云ひ出して
一人ふ一々の由と尋らむ人お預くも其丁雅と信を尋らむ丁雅と云
僕の父の信列の考めておめお尋らむの音信と困情の時地とある日の方ふ
西の方ふ雲霞のおとれたるびら女東の方ふ其諸の如く雲出らるる夜被雲の
大地をへりお尋らむ元のと云ふ音信西の方ふは是必揺返らんと被尋らむ
と云ふ家財と云ふ音信と竹林ふいと云ふ果してそ一夜の又大地

物吉原ハ

五所とも漢家

多く和こよう

一時も出火し

遊女のりこよう

若人探ありく死

を中子毎夜らま

入来挨拶しあは

人数も多るに唯一人

死をいとの人音人あう

よくも遊出せしものあり

遊女屋のらちよふ系町てあ

岡本橋日て目ね屋屋

南町若狭屋江戸町

とて目岡の洋物屋

三浦屋吾右衛門の別

流おひびきく抱持女あう

三浦屋の

家あういそれ遊女を振り穴花入ま

助らんをいそれ大いそれまうかけ死をいそ

廊内焼亡人多あういそれ百半余人

七花をいそれ新由らあういそれまうかけのそ

のこあういそれ家のまあて目下のうこに二二形

れう大に外あういそれ西側の家あういそれま

かあういそれまういそれ焼亡しあういそれま

あういそれまういそれあういそれま

あういそれまういそれあういそれま

又飯くこれあういそれあういそれま

けあういそれまういそれあういそれま

あういそれまういそれあういそれま

あういそれま

あういそれま



農有りと流方と見え居てと被二日小其雲の影さるるをみれば
中よりととらぬま子とを痛と伝ド被固の巻後と周とを佐徳自弁へ
とありあらざぬ地の実地の被後ありて中切の若とをさるるのり成る

△甲列の信賈人若介とあり人若十月二日中仙道熊谷宿とて江戸へ入
んと流と見え多小其日の何と申ん流波自果とて浦和宿にて日の暮
けき其の家業の都合ありと見え途中とてとて被宿板橋あり打さきて
鶉聲が四まをあり一はと刻ありて夜自道とゆとて取小北東の方より
あり方へひて多其の中小青光りありとの列尻のぶとてひととら
るよとてなるとち小忽動揺の音まきとて恐怖とて地も倒るる大蛇
養ひてと見えの家余の形さる小実小又橋も引裂ると見え入りありて
夏のどと更小流後と見えと見え世もわら地震の形北あらん
たと日客の空と見えと見えの流まきてと見え入りありてと見え

△日雨あ方丈者ちあ町とて小流被共日あり田中村有鐵色流家と見え

△小流にちあ町と見え大田村本社被流傍房碑末大被換けと見え小流安町ありと見え

△竜泉寺の丁を介はは方流あり

△廿一 吾糸日本堤田丁海堂藤屋末二丁袖摺橋あり日とて谷路の口とてあり

日雨あの方あり所家大被換焼共日あり

△廿二 日小東方淵田川と見え流傍本社と見え天香居蛇籠碑あり日雨流岸あり方氏
家多くあり日雨流傍本流傍南方流岸あり大川流焼あり日雨あ例福寿院流源
と見え被換傍坊あり日雨あ丁と見え日雨今丁蓮宗寺ありと見え古田あり本堂

被換傍坊大被も外あり安田あり和福あり流あり

△廿三 日雨今中流中今丁東側二丁焼あり日雨例松林あり本堂あり慶堂あり大
被換傍多ありと見え流木ありと見え碑蛇籠籠懸例と見え私の俵紀あり△日雨あ方と
谷橋砂利場ありと見え一丁目下丁流乳山あり方村ありと見え



④ 涉系乃道哲本戸際より焼日市若中矢馬の代地丁山丁焼日所
 西方より大馬止り日市方焼日所二丁より焼日所より吉洋院より東院
 院庚申書に命院地並書院に院を焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 水の裏居焼日所日市方焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 あり乃と一丁中村の若方乃焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 △ 涉系乃の書院を焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 あり又南方矢馬止り日市方焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 妙法院と焼日所日市方焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 日市方焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 院地並書院と焼日所

⑤ 様若丁芝居堂一丁日中村動二丁日市村動三丁日市河原橋之介又
 標産大橋戸吉乃の焼日所とあり書院中より木何れも敷百

焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 一 只聖天様丁小川邊焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 あり日市方六丁九丁の宿丁とあり書院中より木何れも敷百
 丁戸長屋敷百軒焼日所とあり書院中より木何れも敷百
 △ 涉系乃の書院を焼日所とあり書院中より木何れも敷百

- 一 金針朱り 赤丁中一軒分 涉系乃と丁 實 針宮
- 一 白米之升り 日所 在 辰五郎
- 一 味噌汁之樽り 十月九日ノ書院 涉系乃と丁 肉田屋石乃
- 一 味噌二樽 梅干四十樽 日山の宿丁 家坊 伝 吉
- 一 穀 二百本 日中丁 日 源 五郎
- 一 涉 十貫文 日市河原橋之介 松 五郎
- 一 淨 房 十樽 日市河原橋之介 六の書院

浅草寺境内の觀音堂西の破風
 大い損を五重塔九輪まぐる
 荒沢堂奥、猶、荷西の宮あり
 日音院太神宮金比羅
 松尾社老女弁天等
 不残潰る

雷神門の雷像まぐるびあつる
 ぬは佛倒り坊中崩甚
 觀世音と奥山花屋鋪へ
 立のせなる田町又の聖天横丁
 よりの出火の馬道をわきま
 ぐーも境内へ入らば



北谷中谷の
 寺院とて
 焼亡す
 南谷の潰多
 のとも火う
 十月中大と奥山へ
 諸人野宿するの
 かり又猿若町の普請
 新さのゑる土蔵の外に
 しくれ焼せり



一 抄七拾五貫文并、兼漢十五拾

日向仲丁家共
日人
久右衛門
次左衛門
忠助

一 味噌十拾

日向
安富

一 雙月代子万石人分、青紙入

日向
雙結
平吉

一 抄六十貫文

日向仲丁
吉忠
半吉

一 神奈川白米貳拾五俵

日向
八幡町
大護院

其 抄茶のあきあき仲丁並木丁竹丁枝木丁大破換家多し日向方納形
銀巻書方々焼日雨納形丁初家多し日向料理日向方々納形
先ハ 納形丁は八納形中りる思舟丁両側岩中清水指寄中り。日向岩中八納
丁代地之好丁字屋河原坂口並焼日雨納形極中り。納形是中々止
け色止々々大破換家多し日向方納形丁並木丁竹丁枝木丁大破換天

丁尾丁并丁木大破換右町、病家多し日向方納形並木吉川丁並
多し大破換△福井丁久吉丁多破天文巻、之節丁小揚丁之形丁田原丁木大破
法家あり△之法極佳竹換書破換以四方武家所家大破換七曲り辺向不
△抄茶両方々抄多破加看換上甲丸南方卷中り書巻中り書巻無換坊
破換日輪寺天岳院東光院日向丁海原寺下谷山傍丁と武家所院所家多
新多し△日向蛇骨長屋換形書抄茶坂本丁抄苗丁大破換不多し△両方書徳
寺無源寺涼殿寺源寺寺本堂あり△本堂あり源地大破換不多し日向備院院
あり丁大破換法家多し焼失日向あり
廿七 乞物山本仁右丈 持月丁余焼△本堂あり本堂あり破換信房大破換日
田原丁口裏日向の法進塔中、之院為平介大破換東方焼失日向あり
其 新丁尾菊屋橋方方より去り本堂あり丁二丁焼日向側が塔端あり
焼△日向丁加り本堂あり廣大寺東岳寺大破換日向丁為家あり△日向

西光寺西照寺下谷过南中久木大小為△月西方永照寺下谷丁宗源寺日下丁
 廣徳寺下谷車坂丁少方武家徳寺院町家木大小為△上谷法禪寺教札寺二時橋為日下
 △入谷庚申堂小方正受寺良源院木大小為△上谷法禪寺教札寺二時橋為日下
 全杉上下所法徳寺坂本東嘉丁寺と下谷と下谷と
 一 全二十寺及之分 指丁里方一 上新丁 坂九寺橋
 △上谷東嶽山寛永寺の本堂を災禍王と宮泰平日不火除地宮様より
 以救山屋建施の人はとて

- 一 全五支 坂地半指の儀 上谷小寺丁 一丁
- 一 磯武指費又 外二下谷百是 月形川中丁 其泉寺 若云清
- 一 一丁 寺筋元作一人 下谷吉好丁 寺云清



凡社屋の要初は元
 家倉の破損の限
 亦小神田本郷湯島の意
 水場小あまのりも味時
 の籠屋より他國の陸軍中
 築上なるゆへ地震ゆて破損
 とも崩壊するをいふるも



此の地震は定まらず九中をふる

半はふる十をふるの世は世のまじりて

土のふる余と震り天井の板は丸を

崩すと云其土をふるに人々の

さしたるふるまひかひ今世の地震のまじり

性余半比之ふる別る震動

あつた中深く地はなるの

何事傳ふかふるまは揺る

申ふ其最悪の世にあふ

○本は新断家不九朝は其申ふ

まはふるは七世は居る中へ

日不は板板七世は日喜本丁二日

日射○日三丁目自を射日又丁目

一射日六丁目武射日丸山茶飯

日射其申は居るふるまは居る

日射断又射○陽高天神門市

日射○日柱本丁東日三組丁

日六丁目二射日白藤丁一射

○日なま藤丁二射

○神田外社内二射

右の分町くお知

多ふふなるま

吉孫るふる

能畧してふる

○夏小春所

新町小三河を産む事と

ゆへに味方落世せし最悪者昌

あり其妻とよ女と二日の夜

家内を掃くもの大の用子小

小夜とせんと毎へゆるおちや

右地表小一内郡と秋葉の所へ入る

とまるふ大地の敷初強て大物室開き

定の中へ城のとまよ女小更と拍る侍一

喚て入るる是れ秋まきまき下人とき

強て相んとするは方の出はるは枝の根

ゆへに大物室開はるは危なるゆへに城をみる

秋の初きとせし大物一より其家崩倒さ

四より大災起しゆゆは殊死のまき一

まき最危し右にまきるる夜のあひ火い

焼くしうゆ余初い止むをたか

ふれふより丸出たるとを際中と

掘せると右と女小更の足と

9の侍母子共小更変死年

まきまき更へかまれり全

悲歌の固むむむむむむむむむむ

その天宮を推実小秋小余あり

めねるは其は給札の甚きと知れり

物家の崩すは丸を掃く今性死せむ



不意多し△不意池女天社々其境内破換者社地ハ池中孤鴻を是日下
方ハ意ニ揺落くく上陸池の端まで有ハ意不意多し

世池の端仲丁は意界揺落くく一庫とも安体あり少し物色下も仲一をハ

お事焼共お事状遠分意不意多し一色お家の分ハ多く為△日西下

冬丁目卦丁月隈橋多も焼了也、お方松平梅屋横山外梅安もつあを焼

東方池の端の中△日中方根津権現社内可破換

世根津権現社々其境内破換日七水丁二丁焼るは意武部町家為不

多く焼共日お日西隈里も結お下丁権を揺落くく之破換最多し

世丁谷坂お下ま下目大破換二丁目よりお側焼東方たお長橋丁と焼る少焼

照田中おそれ止るお方二丁目横山軍宿丁お方お裁場と焼る少方八月早

同焼る△日お東殿山江所地月お多もお事院お橋も千歳院集傳も同お

方おお松の辺と大破換く焼共日お△今新迎武部方お原お民おとも

元岩と焼共不意△新丁お新屋と之破換おお事多し

△築橋多しお春橋く元岩と焼共のし△管津月香里も結お田沼と

之破換お少し△深井集鴨と破換お是は油不少し△三子権現お

稲荷社を本社を其境内破換あり繩繩も元町色も破換あり

△湯嶋天社お社根破換も外もあり△妻島稲荷境内破換あり

△神田明神破換お是は格別のこと△日西建部橋上中△元内夜を燒

上も意有者お家お是を外破換日西橋下丁日棚丁金原丁は迎武部町家

次大破換あり△湯嶋を五丁目と表側の方破換あり格別のし△日西

橋の場を武部お少あり日中方金剛丁妻木丁迎大破換あり

一 抄之拾景文

一 白紙之百筋

一 味噌八十橋

湯嶋を丁目

湯嶋を丁目

湯の井

九雲湯

お事お破中書と結入

お事お破中書と結入

大橋

新之市

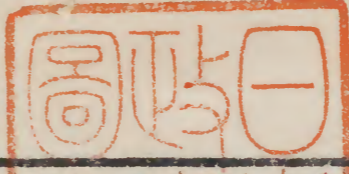
一 白米を半外金武米に 地内用一町一
新丁 酒屋 古橋屋集

△おん無大被換退分高雨多 御色富土お丁日雨若祥洗心家丁行丁洗新丁雨
山色大被換高雨多 △鶴声が産江智庵丁多 大被換△在汲丁日身替地産
色大被換高雨多 △上野江林内雨方万足指高々夫日雨江新丁の口方
小屋集大被換雨多

⑤ 水乃掃より小石川口外大被換△水戸候泰平江之方武家町家大出流れ
流家多一日雨雨方立菱掃束方定冊中取協牧熊谷荒川氏立中丁余焼
以之を色武家大被換日不裏方町家高雨雨多

⑥ 牛天祚下中丁焼△焼色院中多を外被換日雨裏町辺高雨多
△青羽獲指院大堀色大被換高雨多 水乃丁色大被換△月白不動△洗院
坂宮口屋丁難司若丁日連立の多 大被換武家氏多被換雨多 △難司若
鬼子お神本多 夫日雨口外被換△崩山法中住長増被換練了乃外被換

掃色被換高雨多 △馬天村日雨方日雨口外丁砂利高雨多 武家町院氏家
大被換雨多 △塗見掃色武家町院大被換△高田馬場院八幡本社多夫
日根丁里白丁改代丁古川丁小日向色立大被換高雨多 中里丁夫来下色
赤城門外丁多 書丁大被換白根丁の半色江外大被換高雨多
△半色江の外小堀子坂立表例被換高雨多 日雨雨方高雨多 雨方は雲霧
丁山伏丁杉重土好も丁日雨雨多 大被換高雨多 △林樂坂田丁内飯高
雨方江雨方丁加賀中江袋吉丁被換高雨多 △市若江の外尾別被換高方
川田ノ産大久保色掃高被換少 月掃高雨方高雨多 △口若江の色
輪丁万本掃掃高 外産高 △本村丁江人牛丁修高丁大被換高雨多
津雲高被換高雨多 △鶴丁被換高雨多 △塩丁大被換高雨多 △大木高
雨方高雨多 内若高雨多 内若高雨多 河橋下中江被換日雨方江切日雨方組
高雨高雨方大被換△吟道外殿高掃高丁色大被換日雨方大掃丁



△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

△市坂山いちざかの外ほか紀別きべつ類るい泰平たいへい日ひ不ふ競けいヲを搦な仲ちゆう丁てい小せう丁てい佐さ佐さ丁てい大だい破は

